

水元公園親子耕作体験12月の活動案内

12月8日(日) 10時～15時「稲の脱穀」「門松準備」

稲の脱穀、藁のすぐり

12月22日(日) 10時～15時「門松づくり」「大掃除」

プラザに門松を飾る。ミニ門松づくり

*月々のwebによる最終案内は「msnのweb検索」で「水元親子耕作体験」と入力して、検索

12月22日は「冬至」。二十四節気の一つで、北半球では太陽が最も低く、夜が最も長くなる日です。

日照時間が短いため**生命の源である太陽の恵みを感じる時季**であり、

また古来、冬至は**新年の起点**として考えられていました。この日を境に昼間の時間が延びていくからです。

環境学習拠点として位置づけられていた水元の緑の相談所。

相談所では**循環型社会**を目指して、循環する**陽**のありがたみ、そして大気循環する**水**の恵みを**シンボリック**に表現

するものとして、「**日時計花壇**」をつくり、「**水車**」を展示・設置してきました。



粉碎枝葉で作られた腐葉土を水田に



日時計の針をシンボルにした花壇。季節によって針の影の長さ、位置が変化。太陽との関わりを観察する看板を設置



ペットボトルロケットで大気を学ぶ



↑田植え後、小合溜の水を水車で補給
←秋冬はプラザ入口に展示活用



日時計花壇の目的が忘れられ、シンボルの針は看板に



廃油を使ったろうソクづくり

堆肥小屋に仮保管していた水車が、何者かに焼かれてしまった。やりきれない出来事でした



太陽熱を使ったソーラーパルーン



水車、

日時計花壇

循環社会活動、